

本単元で育む主な情報活用能力

A-STEP3, G-STEP3  
K-STEP3

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- ・話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。
  - ・話し言葉と書き言葉の違いに気づく。  
（学校図書館等の活用でつきたい力）
  - ・社会の事象に関する課題を設定する。
  - ・複数の資料から読み取った情報をもとに、自分の考えを構築する。

単元における学習の展開（全7時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	○「よりよい未来」について考える。 ・「よりよい未来」について、考えを付箋に書き、グルーピングする。（本時）
第2次 (4時間)	○資料から情報を集め、スピーチを構成する。（☆） ・現状の課題を考える。 ・課題を解決するための情報や提案の根拠になる資料を集める。 ・スピーチの構成を考える。 ・スピーチの原稿や発表するための資料を作成する。
第3次 (2時間)	○スピーチ大会を行い、学習をふり返る。 ・クラスでスピーチ大会を行う。 ・学年で集まり、クラスの代表がスピーチをする。 ・学習をふり返る。

本時のねらい

- ・学習の見通しを持ち、「子ども未来科」で扱うテーマを考える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10分)	1. 学習の見通しを持つ。 ・スピーチ大会をするというゴールを確認する。 ・単元の計画を立てる。	・子どもが主体となってスピーチをするために、どんな活動が必要かを考える。
展開 (30分)	2. 「子ども未来科」で扱うテーマについて話し合う。 ・「よりよい未来」についての自分の考えを付箋に書く。 ・グループで集まり、それぞれの付箋をグルーピングする。 	・ドーナツチャートを用いて、付箋をグルーピングする。
まとめ (5分)	3. 「子ども未来科」で扱うテーマを決める。 ・それぞれのグループに「○○科」と名前をつける。 ・グループのテーマを決める。	・それぞれのグループのテーマに沿った資料を準備する。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・導入の際に、よりよい未来を具体的にイメージさせることが大切である。
- ・付箋に現状の課題を書き出したことで、課題が整理されて、把握しやすかった。
- ・「自然」や「環境」など大きなテーマで考える児童が多く、考えを絞り込ませていくことが難しかったため、導入時の声掛けやワークシートに工夫が必要である。
- ・既習事項や他教科との関連を考えさせることで、身近なことから世界的な事柄まで、幅広い視点で考えることができた。
- ・クラスの代表は学年でスピーチをするという見通しを持っていたので、最後まで意欲的に取り組むことができた。



ドーナツチャートをもとに、現状や課題を考えている様子